

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 28 年 11 月 22 日

理事長 松山 良一

## **第 33 回国際アクチュアリー会議が半世紀ぶりに東京開催決定！** ～MICE アンバサダープログラムを活用した誘致活動が奏功～

- 南アフリカ共和国 ケープタウンで開催された国際アクチュアリー会の理事会(2016年11月21日)において、2026年に開催される第33回国際アクチュアリー会議(ICA2026)の開催地が東京に決定しました。
- 招致決定プロセスでは、日本(東京)、カナダ(バンクーバー)が最終選考に進み、両国によるプレゼンテーションに続く、国際アクチュアリー会執行委員会での審議を経て、日本での開催が決定しました。日本では1976年の東京開催以来50年ぶり2度目の開催となります。
- 保険や年金分野において、長寿先進国である日本の取り組みには、世界的に大きな関心が寄せられており、ICA2026の日本での開催により、高齢化社会におけるアクチュアリーの様々な取組みの情報発信の場となることが期待されます。
- 日本開催を通じて、日本のアクチュアリーが国際的な議論をリードすることは、アクチュアリー学の発展、日本のアクチュアリーや日本アクチュアリー会のプレゼンスを高める絶好の機会となります。
- JNTOは、観光庁、東京都、東京観光財団と連携し、MICEアンバサダーの前林 義明氏(前日本アクチュアリー会事務局長)による熱心な誘致活動を支援しました。MICEアンバサダープログラムを活用した国際会議としては8件目です。

【ビデオ撮影】



【プレゼンテーション】



会議名	和文) : 第 33 回国際アクチュアリー会議 英文) : 33rd International Congress of Actuaries (略称: ICA2026)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクチュアリーとは、確率・統計などの数理的手法を活用して、保険や年金の料率設定、決算に関わる数理業務、商品開発、リスク管理などに携わる専門職。</li> <li>・IAA (International Actuarial Association) は、アクチュアリーの実業と専門性の向上を促進することを目的に創設された国際組織。本部はカナダのオタワ。現在の IAA に加盟している各国のアクチュアリー会は 85 カ国。日本アクチュアリー会は、IAA の主要なメンバーであり、IAA の活動に大きく貢献している。</li> <li>・IAA では世界各国で 4 年に 1 度、ICA を開催している。この会議では、各国のアクチュアリーによる論文発表を初め、その時々興味深いテーマについて活発な意見交換が行われる。日本では 1976 年に開催され、開会式には当時の皇太子ご夫妻、大平大蔵大臣にご臨席賜り、世界 44 カ国から 2,200 名あまりが参加した。</li> </ul>		
主催団体	公益社団法人 日本アクチュアリー会		
開催都市	東京	予定開催期間	2026 年 11 月 8 日～13 日
参加予定人数	2,000 名(海外:1,500 名 国内:500 名)	予定参加国数	約 100 カ国・地域
誘致活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光庁との連携のもと、内閣府特命担当大臣(金融)、厚生労働大臣、金融庁長官、観光庁長官、東京都知事、東京観光財団理事長、JNTO 理事長による招請状を発出し、オールジャパン体制での支援を表明。</li> <li>・MICE アンバサダープログラムとして、ネイティブ外国人講師によるプレゼンスキルアップ指導や PR ツールの提供など、日本の魅力も交えた効果的なプレゼンテーションが招致決定につながった。</li> </ul> <p>※MICE アンバサダープログラムとは…</p> <p>JNTO では、国際会議の日本誘致を推進するため、学術分野や産業界において、国内外に対する強い発信力やネットワークを持ち、「日本の顔」として広報活動や誘致活動に寄与いただける有識者の方々を MICE アンバサダーとして任命、その活動に対し必要な支援を行う「MICE アンバサダープログラム」を展開。</p>		

本件に関するお問い合わせ先

コンベンション誘致部 (村上) TEL:03-3216-2905

